環境の保全に関する

環境の保全による

る

の保全

を策定しているが、

脱炭素

策が国内で最も先進的で、

環境

:脱炭素社会構築のための施

「環境日本一」

が最も優れた県となるべく、

環境基本計

県議会 2月定例会 般質問 (3月2日)

業が適正に導入されるよう取 を駆使して、 きの厳格化などにより、 条例を制定することを提案する。 Q:太陽光発電施設の設置に関 強化してきた。今後も既存制度 条例の改正や林地開発許可手続 知事:これまで県環境影響評価 はトラブルの防止に限界がある 新たに県で規制のための 現行の制度による規制で 自然エネルギー事 対応を

太陽光発電施設

事業者が後を絶たない。 県では対策を講じているが、 トラブルが発生している。 度の隙を突いて設置する

長野県観光機構のあり方 県観光部と

 Π

観光振興

光機構はどのような役割分担を 行っていくのか。 : 今後、県観光部と長野県観

めるとともに、観光施策の企画観光地域づくりの基盤整備を進 DMOや観光事業者の稼ぐ力を 立案などのシンクタンク的機能 して機能を強化する。観光部は 引き出す観光施策の実行組織と 観光部長:観光機構は、 ・県内の

地として相応しいことから、誘産業労働部長:軽井沢町は開催

致に積極的に取り組む。 環境に関する関係閣僚会 ※4月2日に政府は、 ることを決定しました。 合」を軽井沢町で開催す

誘致 「G2関係閣僚会議」

<mark>ග</mark>

なる「リニアバ

-構想」

ており、候補也とうでで、一年日本で開催されることになっており、候補也とうできます。 をすべきと考えるが?



リニアのイメージ。平成39年、伊那谷に中間駅が設置

2

リニアバレー構想

年に「リニア活用基本構に普及させるため、平成26 伊那谷 想」を策定、平成28年には 地域の取組の 治指針

※長野県観光機構

光協会→平成28年(一般社団法平成13年(社団法人)長野県観

人)長野県観光機構

観光地域づくりを進める法人で、

長野県観光機構」は広域的に

活動する組織

を策定した。

か? のように進めようとしているの Q:「リニアバレー

発展に繋がるよう積極的に取りがら、このリニア中央新幹線のがら、このリニア中央新幹線のがら、これからも地元市町村でいく。これからも地元市町村の経済界の方々と連携を図りない。

知事・ 将来像の実現に向けて、経済界 や専門家の方々等多様な主体と 県としては、 地域が描く

組んでいく。 ※リニアバレー構想が目指す姿

伊那谷が、リニアの整備効果を

るグローバル活動拠点 国際空港へ1時間でアクセスす る大都市や世界の活力を引き寄 最大限に活用して、地域発展の を実現する。 も人々も輝く「リニアバレー」 原動力とすることで、身近にな 豊かな自然環境の中で地域

料・エネルギーの新しい供給拠巨大災害時のバックアップと食 高度な都市空間と大自然とが近

3

世界から人を呼び込む感動フィ 接した「対流促進圏域」

構築して「環境日本一」を目指 二酸化炭素の排出が少ない社会 持続可能な社会を

※低炭素・脱炭素社会

カレッジを立ち上げ、

気候変動

環境部長:新年度から信州環境 ような施策を進めていくのか? を高めるために、具体的にどの

となどにより県民の気づきを促 について学ぶ機会を提供するこ

脱炭素に向けた県民意識の



ている。

省エネルギーの推進

知事:新たな取り組みにもチャ

を提案する。

環境日本一」

県を目指すこと

レンジして、

を一段と加速させる。

県民の環境に配慮する意識

再生可能エネルギーの普及拡大

炭素社会の構築を重要な柱とし 知事:県の新総合計画では、 社会の実現に向けた決意は?

文教委員会関係

●高等学校の洋式トイレ・空調設備の設置

◙:洋式トイレや空調設備の設置が中々進んでいないが、 全体的な整備計画を立て計画的に整備を進めるべきでは ないか? 私の母校では、昨年の夏には熱中症で倒れる 生徒が続出したため、同窓会が数百万円を負担して扇風 機を設置した。

A:洋式トイレの設置率は27%。普通教室の空調の設置 率は19%で、全国的には最低レベル。予算の確保が難し いが、計画的に整備を進める。熱中症や同窓会の支援の 状況は掌握している。

特別支援学校多目的トイレの設置

●:多目的トイレの設置は早急に進めるべきだが、実態 と整備の考え方は?

:設置率は7割を超えているが、一部の学校は5割程度 であり、7割未満の学校を中心に整備を進める。平成32 年度までに県全体の整備計画を立てる。来年度は伊那養 護学校など2校を整備する。

「環境・産業・観光委員会」副委員長に就任

2月県議会最終日に「常任委員会」の所属替えが行わ 「環境・産業・観光委員会」の副委員長に就任し ました。また「議会運営委員会」と「広報委員会」に も所属します。任期は1年(来年4月末まで)です。

環境・産業・観光委員会は、環境部 観光部の業務を担当します。

酒井 茂ブログ随時更新中!

公式サイト: http://shigeru-sakai.com/

みなさまのご提言や

ご要望をお寄せください。 酒井茂

〒399-4432 伊那市東春近原新田8243

携帯サイトへ 簡単アクセス

酒井茂事務所

TEL/FAX.0265-73-5606 E-mail: info@shigeru-sakai.com